

◆ 平成17年度の概要

1 とりまとめ状況

- ▷ 府内各市町村から報告のあった、介護保険制度の実施状況及び京都府における集計データ等を、平成15年3月に見直した京都府介護保険事業支援計画「きょうと高齢者あんしん21プラン」に準じて、高齢者保健福祉圏域毎にとりまとめたもの。（一部のデータを除き、市町村別でも掲載。）

《高齢者保健福祉圏域別の市町村一覧》

丹後（丹後）＝宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町（平成18年3月1日に加悦町、岩滝町、野田川町が合併）

中丹（中丹）＝綾部市、福知山市（平成18年1月1日に三和町、夜久野町、大江町が編入合併）、舞鶴市、

南丹（中部）＝亀岡市、南丹市（平成18年1月1日に美山町、園部町、八木町、日吉町が合併）

京丹波町（平成17年10月11日に丹波町、瑞穂町、和知町が合併）

京都・乙訓（京都・乙訓）＝京都市（平成17年4月1日に京北町が編入合併）、向日市、長岡京市、大山崎町

山城北（南山城）＝宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町

山城南（相楽）＝木津町、山城町、加茂町、笠置町、和東町、精華町、南山城村

※平成18年度に圏域名の変更があり、平成17年度までの圏域名を（ ）で標記

2 概要

- ▷ 要介護認定やサービス事業所の指定状況、さらには居宅・施設サービスともほぼ全て前年度の利用実績を上回り、介護保険制度が浸透したものと考えられる。制度施行後6年目となる17年度においても、概して順調に運営されているものと考えられる。
- ▷ 一方で、計画値を上回るサービス利用が多いことなどから、引き続き一部の市町村で収支不均衡が生じている。

3 主な指標についての分析

(1) 要介護等認定の状況

- ▷ 18年3月末現在の要介護等認定者数は、約9万4千人（93,540人）になっており、17年3月末（89,171人）からの1年間に約4千4百人増加（前年度比5%増）。制度施行後6年目においても毎月約400人の新規認定者が増加しているが、増加のペースは鈍化傾向にある。
- ▷ うち65歳以上の第1号被保険者は約9万1千人（90,891人）で、府内の65歳以上高齢者約53万6千人（536,137人）の17.0%（＝要介護認定率）（全国平均16.1%（平成18年1月末））となっており、17年3月末現在の16.7%を0.3ポイント上回っている。

- ▷ 認定者数を要介護度別にみると、要支援 約1万人、要介護1 約3万3千人、要介護2 約1万6千人、要介護3 約1万3千人、要介護4 約1万2千人、要介護5 約1万人となっており、要支援・要介護1の占める割合は5割近く（46.6%）となっている（全国平均49.7%（平成18年1月末））。
- ▷ 実際に介護サービスを受けている方は、18年1月現在約7万6千人（76,381人）で、要介護等認定者のうち82.1%。17年度に入ってからからの要介護認定者数に対する利用者数の割合は、82～83%台で推移している。

【京都府】

| | 17年3月末 | 18年3月末 | 増 減 |
|---------------------|----------|----------|---------|
| 要介護等認定者数（第1号被保険者） a | 86,558人 | 90,891人 | 4,333人 |
| 要介護等認定者数（第2号被保険者） | 2,613人 | 2,649人 | 36人 |
| 合 計 | 89,171人 | 93,540人 | 4,369人 |
| 第1号被保険者総数 b | 519,265人 | 536,137人 | 16,872人 |
| a/b×100 | 16.7% | 17.0% | 0.3ポイント |

【全 国】

| | 17年3月末 | 18年1月末 | 増 減 |
|---------------------|-------------|-------------|----------|
| 要介護等認定者数（第1号被保険者） a | 3,942,808人 | 4,133,985人 | 191,177人 |
| 要介護等認定者数（第2号被保険者） | 143,051人 | 148,305人 | 5,254人 |
| 合 計 | 4,085,859人 | 4,282,290人 | 196,431人 |
| 第1号被保険者総数 b | 25,111,368人 | 25,710,451人 | 599,083人 |
| a/b×100 | 15.7% | 16.1% | 0.4ポイント |

(2) 事業所の指定状況

- ▷ 18年3月末現在6千2百余りの事業所が、介護保険のサービスを提供する事業所として指定を受けており、制度発足当初と比較して、730箇所近くの増加となっている。

(単位：事業所、施設)

| | 12年4月1日 | 18年3月末 | 増 減 |
|-----------|---------|--------|-----|
| 居宅サービス事業所 | 5,306 | 5,988 | 682 |
| 介護保険施設 | 185 | 230 | 45 |
| 合 計 | 5,491 | 6,218 | 727 |

(3) 事業者指定取消の状況

- ▷ 17年度中に2事業者が指定取消となり、制度発足以来、18年3月末現在で24事業者が指定取消となっている（全国では17年12月末現在で232事業者）。
- ▷ 法人種別では、株式会社・有限会社が最も多く、24事業者中17事業者と約7割を占めている。

(4) 介護支援専門員・訪問介護員の養成状況

- ▷ 17年度末現在、介護支援専門員名簿に登録されている者は8,761名、訪問介護員養成研修修了者は45,033名となっている。

(5) 介護給付費の状況

- ▷ 17年度の介護給付費の支出額は、約1,283億円（月平均約107億円）で、16年度の約1,246億円（月平均約104億円）と比べて、約37億円の増加（3.0%の伸び）となった。
- ▷ 介護給付費の内訳は、居宅サービスが48.7%（約625億円）、施設サービスが48.3%（約620億円）であるが、18年1月の利用者数では、居宅サービスが76.7%（約5万9千人）、施設サービスが23.3%（約1万8千人）となっている。
- ▷ 介護サービス別の支出状況をみると、居宅サービスの伸び（対前年度比104.4%）が、施設サービスの伸び（対前年度比97.8%）を上回っており、中でも「認知症対応型共同生活介護」（グループホーム）は対前年比117.2%（約29億円）、「通所介護」は対前年比109.2%（約161億円）の支出状況となっている。
一方、「訪問介護」は対前年比99.0%（約142億円）となり、やや減少した。

(6) 1人当たり保険給付額

- ▷ 第1号被保険者1人当たり保険給付額は、居宅・施設サービスとも全国平均を上回っている。一方、要介護等認定者（第1号）1人当たり保険給付額は、施設サービスで全国平均をやや上回っているが、居宅サービスでは全国平均をやや下回った。

(7) 介護サービスの利用状況

① 居宅サービス

- ▷ ほぼ全てのサービスにおいて、16年度実績を上回る利用状況となっており、中でも、「認知症対応型生活介護」（グループホーム）が対前年比116.9%、「特定施設入所者生活介護」が対前年比112.9%と伸びているが、増加率は鈍化傾向。
一方、「訪問看護」は対前年比99.1%、「訪問介護」は対前年比99.2%となり、16年度実績を下回った。
- ▷ 計画達成状況では、「訪問入浴介護」、「短期入所サービス」、「認知症対応型共同生活介護」及び「特定施設入所者生活介護」で計画を上回る利用状況となっている。

| | ①7実績 | ①6実績 | 対①6比較 | ①7計画達成率 |
|-----------------|---------|---------|--------|---------|
| 訪問介護 (回/週) | 106,992 | 107,833 | 99.2% | 93.1% |
| 訪問入浴介護 (回/週) | 1,320 | 1,258 | 104.9% | 116.3% |
| 訪問看護 (回/週) | 8,651 | 8,730 | 99.1% | 77.8% |
| 訪問リハビリ (回/週) | 520 | 468 | 111.1% | 97.3% |
| 通所サービス (回/週) | 50,202 | 46,373 | 108.3% | 98.5% |
| 短期入所サービス (週/半年) | 47,918 | 45,605 | 105.1% | 102.8% |
| 認知症対応型共同生活介護(人) | 980 | 838 | 116.9% | 113.1% |
| 特定施設入所者生活介護 (人) | 457 | 405 | 112.9% | 106.4% |

② 施設サービス

- ▷ 利用状況は、「介護老人福祉施設」が対前年同月比110.3%、「介護老人保健施設」が104.0%となり、前年同月を上回ったが、「介護療養型医療施設」が98.8%となり、わずかに前年同月を下回っている。
- ▷ 計画達成状況では、「介護老人保健施設」及び「介護療養型医療施設」で計画を上回る利用状況となっている。

| | H18.2実績 | H17.2実績 | 対H17.2比較 | ⑰計画達成率 |
|---------------|---------|---------|----------|--------|
| 介護老人福祉施設 (人) | 8,409 | 7,627 | 110.3% | 99.8% |
| 介護老人保健施設 (人) | 5,677 | 5,460 | 104.0% | 102.6% |
| 介護療養型医療施設 (人) | 3,944 | 3,990 | 98.8% | 100.3% |

(8) 第1号保険料の徴収状況

- ▷ 65歳以上の第1号被保険者から徴収する保険料の17年度調定分の収納状況は、現年度分・滞納繰越分を合わせた全体で**95.2%**（⑰95.8%）。
そのうち、年金からの天引き徴収を行わない普通徴収の現年度分については、**90.5%**（⑰90.6%）、滞納繰越分については**14.1%**（⑰16.5%）の収納率となっている。

(9) 京都府介護保険財政安定化基金の状況

- ▷ 17年度においては、見込みを上回る給付費の増加等により収支不均衡が見込まれる**8保険者**に対し、約**1億7千万円**の貸付を行った。
- ▷ また、保険料収納率の低下により収支不均衡が見込まれる**6保険者**に対し、約**3億9千万円**の交付を行った。
- ▷ 17年度末における基金残高は約**22億5千万円**となっている。

(10) 京都府介護保険審査会への審査請求の状況

- ▷ 17年度における審査請求件数は**11件**（内訳は、要介護認定に関するものが**6件**、保険料に関するものが**5件**）。
- ▷ 審査結果は、却下が**1件**、認容が**1件**、棄却が**9件**となっている。